



関東支部第138回(2017年度)研究大会・総会のご案内

深い学びにつながる外国語の授業—実践と課題—

会員・関係者各位

文部科学省は今年の2月、小中学校の次期学習指導要領の改訂案を公表しました。その要点は、一方的に知識を得るだけでなく、「主体的・対話的で深い学び」、いわゆる従来のアクティブラーニングの視点からの授業改善をさらに充実させるというものです。このうち、深い学びに関しては、「課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習」を取り入れた授業を、高大接続に先んじて小中学校から導入するという政府の強い意思が見て取れます。文部科学省はこの授業改革について、現場の工夫を求めるとしながらも、事例を広く紹介してゆくとしています。

さて、このような状況の中、春の研究大会では、外国語の授業において、「深い学び」につながる実践と課題について LET として「深く」議論する場を設けました。18 件の発表、2 件のワークショップ、恒例の賛助会員展示、ランチパーティーと盛沢山のイベントと合わせまして、会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2017年6月

外国語教育メディア学会
関東支部長 湯舟 英一

記

- 主催** 外国語教育メディア学会(LET)関東支部
共催 関東学院大学高等教育研究・開発センター
後援 神奈川県教育委員会・横浜市教育委員会
期日 2017年6月17日(土曜日)
会場 関東学院大学金沢八景キャンパス3号館・Foresight21 5F
〒236-8501 神奈川県横浜市金沢区六浦東 1-50-1
- ◆ 京浜急行電鉄 金沢八景駅下車 徒歩 15分
 - ◆ 京浜急行バス「関東学院循環」行に乗車
「関東学院正門」にて下車(バス所要時間約5分)
※「関東学院東」では下車しないでください

外国語教育メディア学会(LET)関東支部事務局

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町 58-2
高崎健康福祉大学 人間発達学部
嶋田和成研究室内
電話: 027-352-5558 ファックス: 027-352-1311
E-mail: kanto-office@j-let.org

時 程

9:30 ~ 受付

金沢八景キャンパス 3号館 2階

10:00 ~

賛助会員展示

3号館 3階 306・307 教室

3号館 3階 306・307 教室では、ブースを設けて、賛助会員による展示を行います。

10:00 ~ 12:10

ワークショップ

Foresight21 5階 Language Learning Center

司 会 奥 聡一郎 (関東学院大学)

関東学院大学高等教育研究・開発センターが共催するワークショップです。アクティブラーニングの基礎の基礎をワークショップ形式で学んでいただき、後半のシンポジウムや明日の授業実践に生かしていただければと思います。

■ ワークショップへの参加方法 -----

ワークショップは原則として**事前予約制**となります。各ワークショップともに定員は 20 名(先着)とさせていただきます。当日空席がある場合には受付にてお申込みいただくことができます。下記または LET 関東支部 HP よりお申し込みください。

当日は 3号館 2階で受付をされてから、会場(Foresight21 5階)にお越しください。

アクティブラーニング I

10:00 ~ 11:00

「アクティブラーニングの基礎の基礎」



講 師 奈良 堂史 (関東学院大学)

お申し込みは下記 URL、または QR コードより

<http://kokucheese.com/event/index/463984/>

アクティブラーニング II

11:10 ~ 12:10

「アクティブラーニングと授業実践のヒント」



講 師 杉原 亨 (関東学院大学)

お申し込みは下記 URL、または QR コードより

<http://kokucheese.com/event/index/463986/>

10:00 ~ 12:15

実践報告 1

3号館 3階 302教室

司会 平賀 優子 (慶應義塾大学)

- 10:00 ~ 10:30 ① 実践報告
「高校英語から大学 EAP 教育への橋渡し教育のあり方—
思考を伴う『発問とタスク』にフォーカスして」
平井 清子 (北里大学)
河野 円 (明治大学)
鈴木 広子 (東海大学)
- 10:35 ~ 11:05 ② 実践報告
「スキット作りとスピーキング活動におけるパフォーマンスと
その評価—高等学校英語授業における実践報告—」
長岡 穂 (元東京都立多摩科学技術高等学校)
- 11:10 ~ 11:40 ③ 実践報告 (2016 年度関東支部研究支援プログラム中間報告)
「楽曲歌唱による発音向上への試み—タスクの検証と中間
報告」
中田 ひとみ (獨協大学)
- 11:45 ~ 12:15 ④ 実践報告
「スピーキング活動に於けるスマホの活用—ビブリオバトル
での実践から—」
竹村 雅史 (北星学園大学短期大学部)

参加者へのお願いとご案内

- 1) 参加費について
＜会 員＞ 参加費は無料です。
＜団体会員＞ 各団体につき 1 名が無料で参加できます。
2 人目からは 1,000 円をお支払いください。
＜非 会 員＞ 1,000 円(資料代) 学生も同額です。
※関東学院関係者 (小中高大教職員・学生・院生含む) は無料です。
受付の際に身分証明書をご提示ください。
- 2) 録音・録画についてはお断りしています。ご了承ください。
- 3) 3 号館 1 階「重慶厨房」にてランチパーティーを開催いたします。皆さまのご参加をお待ちしております。費用 1,000 円は当日受付にて申し受けます。

10:00 ~ 12:15

研究発表 2

3号館 3階 303教室

司会 入江 潤 (明星^{みょうじょう}学園小学校)

- 10:00 ~ 10:30 ⑤ 研究発表
「語彙ネットワークと日本人大学生による5つの知覚動詞の理解」
佐藤 正伸 (大東文化大学)
- 10:35 ~ 11:05 ⑥ 研究発表
「小学校英語学習導入期における効果的な活動ー身体を通して英語を学ぶ効果の検証ー」
河内山 晶子 (明星大学)
- 11:10 ~ 11:40 ⑦ 研究発表 (2016年度関東支部研究支援プログラム中間報告)
「字幕を活用した反転学習で、アクティブラーニングの時間を確保」
田淵 龍二 (ミント音声教育研究所)
池山 和子 (首都大学東京)
- 11:45 ~ 12:15 ⑧ 研究発表
「チャंक長が英文読解能力に与える影響」
鈴木 政浩 (西武文理大学)
神田 明延 (首都大学東京)
湯舟 英一 (東洋大学)
山口 高領 (立教女学院短期大学)
田淵 龍二 (ミント音声教育研究所)

LET は 英語教育だけでなく、あらゆる外国語教育について最先端の理論とそれに基づいた実践方法を探究する学会です。言語理論、学習理論、認知心理学、脳科学などの基礎理論研究から、教授法や教材開発、学習アプリ開発、SNS 利用、モバイル活用に至る教育工学を含みます。研究発表、実践報告、シンポジウム、賛助会員(企業)プレゼン、様々な研修会などを1年を通して開催しています。もっと効果的で魅力的な授業にしたい、生徒のやる気を高めたい、など授業改善を求めるあらゆる学年の外国語教員にお勧めです。この機会にご同僚やお知り合いをご紹介ください。

10:00 ~ 12:15

研究発表 3

3号館 2階 206教室

司会 鬼頭 和也 (城西大学)

- 10:00 ~ 10:30 ⑨ 研究発表 (2016年度関東支部研究支援プログラム成果報告)
「教室外での自立的英語学習ー学習を促進する心理的要因に着目して」
末森 咲 (お茶の水女子大学大学院生)
- 10:35 ~ 11:05 ⑩ 研究発表
The Effect of Perceived Usefulness of Strategies on Japanese Learners' Speaking Strategy Use
ZHOU, Yujia
(Tokyo University of Foreign Studies)
KANEKO, Asako
(Tokyo University of Foreign Studies)
- 11:10 ~ 11:40 ⑪ 研究発表
「国際ビジネスにおけるコミュニケーション・ツールービジネス・ツールとしての英文Eメールの可能性を中心にー」
戸田 博之 (東京大学大学院生)
- 11:45 ~ 12:15 ⑫ 研究発表
Facilitating of Self-directed Language Learning Through a Language Portfolio System
MOSER, Jason (Kanto Gakuin University)

12:20 ~ 13:20

ランチパーティー

3号館 1階 「重慶厨房」

昼食の時間に、発表者や賛助会員、他の参加者との懇談の場としてランチパーティーを開催します。ご希望の方は当日受付にて申込をお願いいたします。費用は1,000円です。

13:20 ~ 14:20 (コアタイム)

ポスター発表

3号館 3階

ポスターの展示時間は 10:00~14:20 です

- ① 「Moodle を利用したライティング活動ー高等学校英語授業における実践報告ー」
長岡 穂 (元東京都立多摩科学技術高等学校)
- ② 「短編小説を題材としてリーディングとライティングを結びつける授業」
藤永 史尚 (近畿大学)
(2016 年度関東支部研究支援プログラム成果報告)
- ③ 「TOEIC クラスの学習動機を高める工夫に関するケース・スタディ」
津田 ひろみ (明治大学)
吉田 守利 (明治大学)
- ④ 「デジタルストーリーテリングの日本人英語学習者における CALL 態度に及ぼす影響」
森野 綾香 (筑波大学大学院生)
- ⑤ 「高専生の外国語授業における協同学習の要素」
吉村 理英 (小山工業高等専門学校)
- ⑥ The Perception of English Vowel Phonemes by Japanese University Students
SATO, Akihiko (Takushoku University)

14:20 ~ 15:00

総会・開会の挨拶

3号館 2階 201 教室

司会 奥 聡一郎 (関東学院大学)

会場校挨拶 出石 稔 (関東学院大学副学長)

LET 関東支部長挨拶 湯舟 英一 (東洋大学)

15:00 ~ 15:45

基調講演

3号館 2階 201教室

司会 小野 雄一 (筑波大学)

英語授業における「深い学び」とは何か：単元構成からの視点

講師 亘理 陽一 (静岡大学)

これまで外国語教育のアプローチやメソッドをめぐる議論が様々な形で重ねられてきた一方で、授業論として十分な検討を受けてきたとは言えないのが、具体的な授業構成の単位としての「単元」です。単元は、一連の授業を通じて目指すべき目標と計画を示し、終わりの時点でその結果が吟味されるという意味で、アセスメント・サイクルの基本を成すまとまりであり、それを欠いて「深い学び」なるものを実現し追究できるようには思われません。本講演では、一時間の授業や個々の活動、発問を考える際にも単元レベルでの発想が重要となることを示しながら、英語授業実践・研究をより捻りあるものとするような単元の捉え方と単元構成について考えます。

キャンパスマップ

10:00~12:10 5階 Language Learning Center
ワークショップ



9:30~
2階 受付

ワークショップに
参加される方へ
先に受付を
お済ませください

京浜急行バス時刻表

京浜急行電鉄金沢八景駅発 「関東学院循環」	9:20	9:40	10:00
関東学院正門発 「関東学院循環」	16:44	17:04	17:24

<http://timetablenavi.keikyubus.co.jp/dia/timetable/web/51163/5080122011/06/>より
一部抜粋

15:50 ~ 17:00

シンポジウム

3号館 2階 201教室

司会 小野 雄一 (筑波大学)

深い学びにつながる外国語の授業－実践と課題－

発表 1

Techniques to Enhance Deep Active Learning for English Students

講師 BOND, Lisa (Kanto Gakuin University)

When students participate in active learning, motivation to complete tasks successfully as well as a desire to utilize the skills attained increases. Furthermore, students recognize they can use their knowledge and skills in many ways outside of the classroom, making a positive impact in their communities. Ways to enhance such a learning environment through service learning activities and other techniques will be discussed.

発表 2

「マイクロディベート活動を活用した主体的、対話的で深い学びの実現
－英語で考えさせる授業を目指して－」

講師 鮎川 好夫 (茨城県立並木中等教育学校)

社会問題を含む様々な論題を英語で討論できる確かな学力(英語力)と活用する力(論理的思考力)を育成する中学部・高等部における授業実践を紹介する。

討論

「深い学びにつながる外国語の授業－実践と課題－」

パネリスト 巨理 陽一 (静岡大学)

BOND, Lisa (Kanto Gakuin University)

鮎川 好夫 (茨城県立並木中等教育学校)

17:00 ~ 17:10

閉会の挨拶

3号館 2階 201教室

LET 関東支部副支部長 下山 幸成 (東洋学園大学)